



常に新しい発想で製品開発を続ける理研興業の本社社屋

# 理研興業(株)

# 創業50周年

## 価値ある製品で社会貢献

### 北国を支える—新たな挑戦へ

県内でも長年実績のある防風柵・防風柵メーカーとして飛躍する理研興業(株) (本社・北海道小樽市 柴尾耕三社長) が創業50周年を迎えた。過酷な北国の生活を支えて半世紀。研究・開発の命である技術向上に間断なく取り組み、今後も変わりなく高精度・高品質な製品を世に送り続ける。

同社の歴史を遡ると、現・理化学研究所を母体とした新理研工業(株)および理研商事(株)の北海道営業所として昭和二十四年十二月に発足。理研系各社製品の販売を担当してきたが、同三十年十月、新理研工業が大同製鋼(株)と合併するのを機に営業所閉鎖の運びとなつた。しかし、取引先などから営業所存続の要望が出され、三十年十一月十一日、理研興業(株)が小樽市を本社として誕生した。昭和三十六年には緩み止めクロスネジを自社開発し、国内はもと

功し、特許を取得した。そのほか、「自立型支柱折りたたみ式吹抜柵」や景観に配慮した「完全取納式防風柵」、業界初の「運動昇降型防風柵」など次々とヒット商品開発に成功し、北国のライフライン確保に貢献した。平成七年には本社を再び小樽市に移転。十一年には石川島播磨重工業(株)の子会社・スター農機(株)と技術提携し新型防風柵の開発に着手するとともに、工場を千歳市に移転した。この間、カラマツ間伐材を使って北海道立林業試験場と共同開発した「木製高性能防風柵」が、農水省の「十六年度先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」に採択され、その新たな発想に注目。また、同社製品である「高性能防風柵(誘導板付忍び返し柵)」「公共工事において試行的に活用する技術」に選ばれた。全国で百五十二件の応募の中から選ばれた八件のうちの二つで、東北以北では初の選定。国の直轄工事等で積極的に活用されることになった。さらに、アルミ建材メーカー大手の立山アルミニウム工業(本社・富山県高岡市)と技術提携し共同開発した翼型防風柵「スノープレイド」は、高規格道路にも対応する画期的製品として高く評価されている。防風・防風柵メーカーとして確固たる地位を築く理研興業。社会のニーズに対応した新たな製品開発への限りの努力が続く。

## 「物づくり」の原点に

ごあいさつ

代表取締役社長 柴尾 耕三



当社は昭和三十年の創業以来、厳しい時代の波に柔軟な姿勢で対応し、今日まで堅実な成長を遂げてまいりました。防風・防風対策製品ならびに道路維持製品の製作専門メーカーとして各種製品を開発・販売し、北国の発展にいきさか



北海道開発技術センター 理事長 熊谷 勝弘氏

防風防風の対策に活用された技術の創造性は全国的にも高く評価されております。冬季の安全で円滑な交通対策は雪国にとり社会的にも最大課題であります。その意味で貴社の高度で高性能を有する画期的な技術は極めて有意義なものといえます。今後とも研究開発の研鑽に努められ北国の発展に寄与されることを祈念いたします。



田村 嘉子氏

お祝いの言葉  
に尽力してこられた理研興業(株)が、ここに五十年の歴史を刻まれたことに敬意と祝意を捧げます。現地にもっとも適した防風柵を設置することでドライバーを地吹雪から護ることが、この業務に携わる技術者の使命であることに徹し、さらに研鑽を重ねつつ、雪国の雄姿を誇ります。この



創業以来、一瞬も立ち止まることなく、あるべきは吹雪のなかでの現地冬季調査を積み重ねて、より効果的な防風柵の開発